

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 大正製薬株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒170-8633 東京都豊島区高田3丁目24番1号	
本票作成	部署名：岡山工場 工場事務グループ				
主たる業種	分類コード	32	業種名：その他の製造業		
事業の概要	ドリンク剤を日産110万本以上生産する製剤工場 従業員：85名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県勝田郡勝央町太平台33番2号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	9,629 t CO ₂	8,843 t CO ₂	9,148 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	岡山工場	8,843 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 11.8 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 CO ₂ と相関関係である生産数量を使用	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		2,781 t CO ₂ /(億本)	3,109 t CO ₂ /(億本)	2,642 t CO ₂ /(億本)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

夏・冬には目標値を設定しての節電活動や省エネ実務委員による省エネパトロール等計画的に行い、エネルギーの無駄を最小限に抑えた。
しかし、生産量の変化により、電気使用量全体の約4割にあたる夜間・休日の待機電力が大きく影響しており、CO₂原単位の削減には繋がらなかった。

【推進体制】

本工場は、平成15年にISO14001を認証取得し、現在も継続中である。
工場長を始めとして、全グループから担当者を数名選出し、省エネ実務委員会を結成しており、工場内の適切なエネルギー管理及び運用面の改善に努めている。
また、会社全体で中長期的な省エネ施策の導入に向けた調査および導入計画を立てており、CO2の削減に取り組んでいる。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(25年度実施分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を設定しての夏冬の節電 2. ボイラー立ち上げ台数の削減 3. 省エネパトロール実施(2回/年) 4. 省エネ実務委員会開催(6回/年) 5. ブラックイルミネーションへの参加 <p>(今後実施予定分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 冷凍機冷却水水質改善による運転効率の改善 2. 製造室用空調外気取入量の抑制による冷房負荷の低減 3. 生産設備の保温 4. フリークーリングの導入 5. 太陽光発電の導入

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

『2011～2015年度の全社エネルギー消費原単位を、年平均で1%以上低減する』を全社で掲げ、全社全従業員で省エネに取り組んでる。
また、全社的に省エネ機器の導入検討等を行う専門の組織があり、中長期に使用エネルギーの低減に向けて準備している。